

## 令和7年度関東甲信越静ブロック中央会指導員研究会

2月18日・19日、前橋市・群馬県中小企業会館と前橋中心商店街において、関東甲信越静ブロック中央会指導員等研究会を開催した。各中央会から1～3名が参加、県内組合事例、各中央会の特徴的の事業等について情報交換、翌日には視察研修が行われた。



まず、県内組合事例として、群馬県生コンクリート(工)宮川博之事務局長から、当組合の「人材確保対策推進プロジェクト」について、従業員アンケートに基づく提言策定、インターンシップ受入、動画・HP作成など具体的取組みの説明があった。参加指導員は、人手不足が課題の中、参考にしようという興味深く聞き入っていた。その後、各都県中央会の特徴的な事業や、新規事業立案の方法に加え、

生成AIの業務での活用度合や、今後の可能性などについて意見交換が行われた。

翌日の視察研修では、「前橋市中心商店街の取組みについて」をテーマに(一社)前橋まちなかエージェンシーの橋本薫代表



理事から、民間主導によるまちづくりの事例として注目を集める取組みの説明を受けた後、中央通



りや馬場川通り、前橋プラザ元気21など、商店街を説明を受けながら見て回った。

## 特定地域づくり事業協同組合懇談会

2月24日、前橋市・群馬建設会館において、県内の特定地域づくり事業協同組合3組合(上野村特定地域づくり事業協同組合、みなかみ町特定地域づくり事業協同組合、中之条町特定地域づくり事業協同組合)と県地域創生課、中之条町、片品村等、行政関係者による懇談会を開催した。



まず、事例発表として全国的にも取組みが進んでいる埼玉県北西部の小鹿野町特定地域づくり事業協同組合・理事兼事務局長の浅見良雄氏から、設立背景、日頃の活動、運営上の課題等が報告された。

同組合は、令和4年2月に設立、組合員数15名で派遣職員6名を雇用し、観光業等の組合員に職員を派遣している。このほか地域振興事業として組合員事業所DX推進、ライブコマースEC販売、

アンテナショップなどを展開。旅行業登録もし、ワーケーションやインバウンド誘客、ツアー販売として例えば「秩父市・小鹿野町の酒蔵とワインコラボ料理ツアー」を手掛けるなど、若者の就業機会確保と地域観光振興に尽力している。



組合HPより

懇談会では、人材派遣事業について、派遣先の調整、採用方法に関する質疑応答や意見交換が活発に行われるなど、県内組合参加者からは貴重な情報を得ることができたとの感想があった。

### 【特定地域づくり事業協同組合】

地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するため「マルチワーカー(季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事)に係る労働者派遣事業を行う事業協同組合。令和7年12月1日時点では、全国に135組合。